

令和5年度第1回佐用町総合教育会議 会議録

◎日時 令和5年7月3日(月) 午後3時00分開会

◎場所 佐用町役場3階 301会議室

◎出席者

佐用町	町長	庵邊 典章
	総務課長	幸田 和彦
	健康福祉課長	木村 昌子
佐用町教育委員会	教育長	浅野 博之
	教育委員	岡本 正
	教育委員	花尾 睦明
	教育委員	檜本明日香
	教育委員	鎌本智恵美
	教育課長	宇多 雅弘
	生涯学習課長	高見 浩樹
	教育課企画総務室長	間嶋 節夫
	教育課教育推進室長	西川 典男
	教育課西はりま天文台公園長	船曳 英司
	教育課学校給食センター所長	高橋 真弓
	生涯学習課生涯学習推進室長	吉田 美恵

◎会議日程

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議・調整事項

- (1) 佐用町型連携教育の実施状況について
- (2) GIGA スクール構想の実施状況について

4. 閉会

1. 開 会

生涯学習課長

ただ今から、令和5年度第1回佐用町総合教育会議を開催します。

2. あいさつ

生涯学習課長

町 長

はじめに、庵途町長からごあいさつを申し上げます。

皆さんこんにちは。今日は、久々の梅雨の晴れ間となりました。しかし、九州地方では大雨が続き、すでに山口県では大きな災害が発生しております。今後の前線の動きが気になるところです。

5月に新型コロナウイルスが第5類に分類され、様々な規制が解除されたことから人の動きが活発になり、予想通り感染者数が増加しております。小中学校では、修学旅行以降に感染者が増え、学級閉鎖となった学年もあります。まだまだ、終息までの道のりは長いように感じるところです。

そうした中であっても、学校では年間の様々な行事やカリキュラムはしっかりと計画的に実施していただき、学びを止めることがないよう取り組んでいただければと思っております。

今日は、教育課から連携教育とGIGAスクール構想の取り組みが報告されます。全国的に少子化が進む中、近隣市町では小中一貫校など様々な工夫が考えられるなど、義務教育にも大きな動きがあります。佐用町においても、現状をしっかりと捉え、問題意識を持つだけでなく、方向性をもって進んでいかなければなりません。佐用町の令和4年度の出生者数は40数人まで落ち込んでおり、この子どもたちが小学生、中学生になったときの児童生徒数は容易に予測がつかず、そうした状況を踏まえ、課題の認識とともにこれからの学校教育のあり方をしっかりと考え、より良い方向性を打ち出していきたいと思っております。

以上、挨拶とさせていただきます。よろしくお祈りします。

生涯学習課長

教 育 長

続きまして浅野教育長、ごあいさつをお願いします。

現在、学校教育の場ではICTの活用が切り離せないものになっております。それは社会生活でも同じで、役場の課長会も今日からペーパーレスとなりノートパソコン一つ持参しました。専門用語やソフトの使い方など難しい点があり四苦八苦の日々ですが、何とかついて行くための努力だけはしっかりして行こうと思っております。

小中学校では、GIGAスクール構想により一人一台のタブレットを整備して2年が経ちました。子どもたちも大分慣れてきましたが、これが学習面で効果の上がる活用につながるよう取り組んでいきたいと思っております。

今日は2点について説明させていただきますので、忌憚のないご意見をお聞かせ願いたいと思っております。

3. 協議・調整事項

生涯学習課長

続いて、日程3、協議・調整事項に入ります。

本日のテーマは、「佐用町型連携教育の実施状況について」と「GIGAスクール構想の実施状況について」です。以降の進行は慣例により教育長にお願いし

ます。

教 育 長

それでは、事務局から「佐用町型連携教育の実施状況について」と「GIGA スクール構想の実施状況について」の説明をお願いします。

教育推進室長

(別添資料「佐用町型連携教育及び GIGA スクール構想の進捗状況について」により、教育推進室長から説明)

【佐用町型連携教育】

- ・連携教育推進プロジェクトチーム・連携教育推進委員会
- ・先進地域の視察
- ・教師、児童アンケート
- ・地域別の実践内容

【GIGA スクール構想】

- ・タブレットドリルの導入
- ・定期的な持ち帰り
- ・各学校の実践内容

教 育 長

佐用町型連携教育と GIGA スクール構想について説明しましたが、まず、連携教育について、ご質問や感想等があればお願いします。

教 育 委 員

中学校教員が小学校で授業を行っているとのことですが、教科はどのようにして決めていますか。

教育推進室長

それぞれの小中学校には連携教育の担当者がおり、担当者間で実施可能な教科を検討しています。中には教員側から要望を受ける教科もあります。

最初は、取り組みやすい体育、美術から始まり、国語、算数と増えていきました。授業形態は、授業の一部を受け持ったり、授業の合間にアドバイスをするなど様々な形があります。

小学校と中学校では、1校時の時間数や1日の日課表が違いますので、事前の打ち合わせに苦慮しているところです。

教 育 委 員

資料に教師と児童生徒アンケートがありますが、中学1年生からはどんな意見や感想が出ていますか。

教 育 長

このアンケートは、同じ子どもに対して小学校6年時と中学校1年時に行っています。これは、交流授業等の連携により子どもたちの気持ちがどう変わったかを見たもので、中学生になった生徒からは不安が軽減したという感想が伺えます。

町 長

現在の義務教育の一番の課題は、小学校6年間、中学校3年間の教育課程が今の子どもたちの成長にあっていないことだと思います。昔に比べて成長が早くなっているのに、教育課程も小学校5年制、中学校4年制などを考える必要があるのではないか。小中学校の連携教育だけでなく、枠組み自体を変えないと限界があるのではないかと思います。近隣の宍粟市等では小中一貫校が進められていますが、どんな効果や課題があるのかなど佐用町も参考にして、あるべき学校像を考える必要があります。今、佐用町で進めている出前授業や交流を中心とした連携教育だけでは、根本的な解決にはならないと思います。佐用町型連携教育は本年度で3年目となります。教育委員会としてこの3年間の実績をしっかりと評価検証し、次の段階へ進む必要があると思います。

教 育 課 長

佐用町型連携教育が目指すところは、小中一貫校と基本的には同じです。そ

れを更に、小学校と小学校、中学校と中学校というように学校間の連携も深めようとしているところが佐用町の特徴です。連携教育においては、小・中 1 校の歴史が長く、その土壌ができて三日月小・中学校でスムーズに進んでいると思います。敢えて「小中一貫校」という看板を上げなくても、9年間を見通した教育支援や中 1 ギャップ、不登校や地域との連携など進めようとしていることは共通しています。また、この連携教育は学校規模適正化も見据えつつ実践していこうというもので、仮に統合に進んだ場合もこの取り組みが活かされるものと考えています。

佐用町も急速に少子化が進んでおり、三日月中学校は令和 13 年度以降全校生徒が 40 人を超えることはなく、また、上月中学校、上津中学校も 1～2 年遅れて同様の減少が予想されています。そうした場合、どこまで連携教育でカバーできるのかを検討するとともに、統合も視野に入れた学校のあり方を検討していく必要があります。

町 長 規模適正化と言いますが、統合して若干人数が増えたとしても適正規模にはならない。考えなければならないのは、これだけ児童生徒数が減ったときに何が一番問題なのか、どこに課題が出てきているのか、どういうふうには是正しなければいけないのか、現状のままではダメなのかということだと思います。仮に、小規模校であっても、今までとやり方を変えることでしっかりとした教育ができるのであれば、それはそれで問題はないことになる。

それを、連携だけではカバーできず規模の是正が必要だということであれば、統合によって新たに発生する課題の解決が必要である。例えば、通学が遠距離になることで子どもたちの負担は増えるし部活動にも影響する。

まずは、今の状況の中で何故こういう問題が一人一人に起きているのか、部活ができないのか、それが本当に教育の中では問題なのかとなど現状をしっかりと検討する必要があるのではないかと。

教育課長 規模適正化を検討する上で、子どもの人数は重要な判断材料になると思います。1クラスの最低ラインを何人とするのか、1クラス 3、4 人でも学習環境として最適なのか、学校として成り立つのか、また必要な教員を適正に配置できるのかなど、よりよい教育環境をつくることを考えていかなければなりません。

教育長 小中一貫校や連携教育も、義務教育 9 年間を見通した系統的な教育をするための方法です。小中を 6・3に分けるか 5・4に分けるか、それぞれにメリット・デメリットがあります。5・4に分けても教える内容は変わりませんが、小学校 6 年生の負担感は軽減すると思います。しかし、6 年生の最高学年としての意識が薄れることもデメリットに挙げられます。現在、6 年生はその役割や責任感を持たせるよい機会になっています。学習活動においては、行事や授業によって少人数でもできる場面やそうでない場面があります。特に、小人数で課題になるのが、子どもたちのコミュニケーション能力や人間関係づくりの能力だと思います。そうした課題を克服するため、いかに佐用町型として特化していくかが今の課題だと考えています。

町 長 教育課長に考えがあるのなら、発表してもらいたいと思います。

教育課長 先ほどの定例教育委員会の中でもお知らせしたのですが、この 7 月 20 日に町管理職等による規模適正化推進会議を開き、各課の意見も聞きながら方針を固

めていきたいと考えております。

町 長 生徒数の減少は部活動にも影響しています。また、部活動のために町外の中学校へ行く生徒もあるようで、何故こういうことになるのか、親の判断だから仕方ないのか。もう一つ、私立中学校へ通う生徒も多くなってきていますが、今後増えるのでしょうか。それを子どもや親が選択しているのであれば、私立中学校ではどんな教育がなされているのかも検討しなければ、ますます公立校の魅力がなくなります。

教育課長 部活動を理由に区域外就学を認めているのは上郡中学校だけです。しかし、上郡中学校も令和6年度からの受入れはありませんので、その数は減ると考えられます。

町 長 町内4中学校間で、バレーボール部など部活動による区域外就学は現在もありますか。

教育課長 上月中学校のバレーボール部があります。

教育長 高校は部活動で選択するケースがあります。この程大阪府で、私立校の授業料を完全無償化すると発表し兵庫県が反対していますが、こうした無償化の動きが進めばますます地元の公立校への進学者が減ると懸念されます。

教育委員 大阪府は特に私立志向が強いですね。もし、無償化になればどんどん私立に行くでしょうね。兵庫県からも行くんじゃないでしょうか。

町 長 私立校はスポーツや様々な進学コースなど、子どもたちにとって魅力的なことをどんどんやっています。今まで私立校は経済面が壁でしたが、これがなくなることによって公立学校の在り方が問われてきます。

佐用高校では町内から入学する生徒が減っていますが、今年は定員割れとなりました。こうした状況では、今後学級減も心配されます。

この場合は、町立の義務教育だけの管轄になりますが、子どもたちの成長の中で保育園、幼児教育、高校、専門学校、大学等も視野に入れて教育を考えないといけません。

教育長 宍粟市の一貫教育は、既に開校した一宮、千種ともに従来の6・3制を採用しています。これは保護者の意見が強かったと聞いています。佐用町型連携教育においては、何を参考にすれば一番メリットとなるか、これらも探っていかなければなりません。

教育長 それでは、続いてGIGAスクール構想について、ご意見があればお伺いしたいと思います。

町 長 子どもたちのタブレットについて、故障とか繋がらないということを聞いたが、原因は解消していますか。

企画総務室長 故障したり繋がらない状態が頻繁にあるわけではありません。

町 長 インターネットとの接続は、一度調整したらそんなに切れるものではないのでは。使用上の問題はないのか。

企画総務室長 有線の場合はほとんど切れませんが、学校はWi-Fi環境で使っていますので、ちょっとした原因で途切れることがあります。

町 長 各教室まで配線し、そこから有線で繋がっているのではないのですか。

企画総務室長 教室までは配線されていますが、そこからは無線でパソコンと繋がっていま

す。電波で繋がっている以上、電波状況により途切れることがあります。

教育推進室長

導入当初は、利用が集中することで繋がりがづらい状況が発生しましたが、容量を増やす工事をしていただいてから改善されています。

企画総務室長

当初は、全ての学校が本庁舎を経由する回線でしたが、これを地域単位に分けて本庁、各支所経由でウイックと接続し、データ量も大容量プランに切替えています。

町 長

ICT 機器の使い方や学習への活用については、誰かが専門で各学校を指導していますか。それとも教師に任せていますか。

教育推進室長

専門員による指導は行っていませんが、業者による教職員研修や教育研究所によるテーマ別研修を実施しています。

町 長

学校によって、機器を扱う能力に差はありませんか。

教育推進室長

学校間というより、それぞれの先生方個々によって差があります。

町 長

教科で使うかどうかは、先生によって違うのですか。

教育推進室長

そうですね。ただ、得意な先生がいると広がりやすいのは確かで、分からない部分のアドバイスを受けられることで活用が広がります。

町 長

学習活動において、「最低レベルはここまで」、「普通の段階ではここまで」、「本年度はここまで」というような指示はしているのですか。

教育推進室長

そこまではできていません。

町 長

一人1台のタブレットを導入して3年目になります。耐用年数は5年と聞いていますが、使う内容や頻度からしても5年以上は使えるのではないのですか。

教育課長

ソフト関係は3年のリース契約となっていますので、3年で更新していきます。タブレット本体は買い取りですので、壊れた場合は町負担で更新する必要があります。GIGAスクール構想は全国一斉に進められましたので、更新についてはどこの自治体も頭を悩ませていることです。機会があれば町長からも国への要望をお願いします。

町 長

実際の耐用年数はどれくらいですか。そんなに壊れるものではないのでは。

教育課長

一般的にパソコンは5年と言われますが、5年以上は使えると思います。しかし、やはり機械ものですので壊れる場合があり、その都度修理等の対応をしていきます。

町 長

それはメーカーが保証しないという話で、学校の教科で使っている場合だったら、それほど酷使するわけでもないし、児童生徒の数も減っていくので、機械は余ってきますね。余った機械を活用することで全体的に長く使えると思います。役場でもかなり長く使っています。

教育課長

言われるように、壊れた場合は余っている予備機で対応しています。

教育 長

現在、一部のデジタル教科書が試験導入されていますが、今後、その容量が大きくなることで影響が出ないのか懸念されます。

教育課長

タブレット本体が壊れるのが先か、機械の性能がソフトに追いつかなくなると機械を更新するのが先かということもあります。

町 長

学習活動だけで使えなくなるくらいの容量だったら、何も使えないのでは。

企画総務室長

ソフトはライセンスが切れたら使えません。機械はメーカーが推奨する期限よりは大幅に長く使えると思います。

町 長

ソフトのライセンスは3年更新ということですね。

企画総務室長 ライセンス契約により年数は決まってきます。

町 長 3年では、子どもが慣れるまでに終わってしまうのでは。

総務課長 予算編成の時にこうした話がよく出ます。結局、機械は10年くらい使っています。役場では、住基のような重要な個人情報を取り扱うソフトでは5年で更新するものがあります。学校で使う機器も5年や7年で変える必要はないと思いますが、ソフトに関しては機械のスペックによるのではと思います。

町 長 どれだけ学習面で効果が出ているのかどうかはわかりませんが、マイナス面はないでしょうか。

教育長 書くことが少なくなっているのは事実だと思います。一方、キーボードを打つことに割と抵抗感がなくなり、自分の考えをスッと打ち込めたりする利点もあります。

タブレットの活用については、学校間のオンライン授業で子どもたちが多様な考えに触れたり、いろいろな先生の授業を受けることができるなど、有効な活用方法がたくさんあると思います。

町 長 情報技術がどんどん発展し、いったい今の子どもたちが大きくなった時、どんな世の中になっているのか想像できませんね。

教育長 他にご意見等ございませんか。

町 長 4月から、子どもが休んでいる状況と、ほっとルーム（教育支援センター）の利用状況は。

教育課長 不登校は数人あります。現在、ほっとルームの登録は3人となっています。

教育長 不登校であっても中3になったら進路のことも考え、学校に行き始める傾向があります。今のところ改善の方向に行っています。

町 長 3人の登録ということですが、登録しても全然来ないというようなことはないのですか。また、登録しない子もいるのですか。

教育課長 登録した子は利用していますが、登録まで進まない子もあります。

不登校は個々でその対応が違います。ほっとルームを進める場合や、現状で様子を見る場合など、利用はあくまでも本人の意思で、強制ではありません。

教育長 ほっとルームの勧奨は本人と保護者に行います。本人から行こうという意思が現れない限り登録には至りません。

町 長 利用者は中学生ですか。

教育長 対象は町内の小・中学校ですが、現在の利用者はすべて中学生です。

町 長 現在、不登校は何人くらいですか。

教育長 全く行ってないのは3、4人くらいです。

教育課長 不登校傾向の子どもも入れると10人くらいあると思います。

町 長 今年の入学式では落ち着きがなかった子もいたと聞いていますが、その後はどうですか。落ち着いて授業は進められていますか。

教育推進室長 ほとんどの子が落ち着いてきました。

町 長 それならいいですが、前から言うように幼児教育の段階からの連携が本当に大事だと思います。そこも学校として保育所との連携をしていただきたいと思います。

教育推進室長 ご指摘のように保幼小の連携は重要で、小学校、健康福祉課、教委が連携しながら保育園・幼稚園訪問を定期的に行い、早い段階から子どもの様子を観察し対策を講じているところです。

町 長 しっかり状況も見て、子どもにとってどういう対応が適切なのか、保護者にもちゃんと理解してもらい、支援していくことが重要だと思います。

教 育 長 ほかにありませんか。
ないようですので、これもちまして第1回総合教育会議を終わります。
長時間にわたり、ありがとうございました。

4. 閉 会

生涯学習課長 次回は12月に開催します。お疲れ様でした。